

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

市町名 35206防府市

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状の 数値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
35206防府市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	時間外勤務の時間が月45時間以上の教員の割合が小学校で34.4%、中学校で49%であり、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	学校運営協議会で山口県教育委員会が出している働き方改革の資料を委員へ提示したり、防府市教育委員会から議長へ防府市内の教員の時間外勤務の時間について具体的な数値を提供したりしている。結果、やや改善傾向にはあるが、働き方改革で教員全般が楽になったとの誤解も生まれている。	・市内公民館を拠点に配置した地域学校協働活動推進員15名と各校の学校運営協議会委員と防府市教育委員会を中心にして、各学校の実態がわかる具体的な数値を提示し、教職員の働き方改革に対する地域・保護者の理解を図る。 ・地域学校協働活動推進員が中心となって学校支援ボランティアをコーディネートし、教職員の業務負担を軽減する。	地域住民・保護者の理解から、学校・家庭・地域の役割分担の明確化による地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	時間外勤務の時間が月45時間以上の教員の割合	%	40	35	38	・勤務の実態を学校運営協議会で報告する学校もあり、保護者や地域住民の働き方改革に対する理解は進んだと考えられる。しかし、業務内容に踏み込んだ取組にまではつながっていなかった。今後は、各公民館に配置している地域学校協働活動推進員を中心に学校支援ボランティアを手厚くすることを通して時間外勤務が45時間以上の教員の割合の低減を図っていく。	防府市ホームページ http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/oshiki/39/tiikirennkeidayori.html
35206防府市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	各教室のスタッフのメンバーが固定化されていることや高齢化などにより、体験活動の種類や活動に参加できる子どもの数が減少傾向にある。	放課後子ども教室コーディネーター同士や他課と放課後子ども教室についての情報交換の場を持つことにより、好事例を共有して活動を活性化させ、市内合計で年間200回以上実施。しかし、各教室の子どもの参加人数は減少傾向にある。	・各放課後子ども教室に留守家庭児童学級(放課後児童クラブ)との連携を働きかけながら、事例やノウハウを紹介等することで、連携回数を増やし、体験活動への子どもの参加人数を増やす。 ・講師をもつ他団体と連携し、新規の体験活動の場をつくる。	多様な体験活動を行うことにより、友だちや地域と積極的に関わろうとする児童や他者を思いやることのできる児童が増える。また、地域の人たちとの温かい関わりにより、地域への愛着や地域貢献の意識が高まる。	市内の放課後子ども教室と留守家庭児童学級(放課後児童クラブ)が連携して参加した留守家庭児童学級(放課後児童クラブ)の子どもの延べ人数	人	820	1000	1300	・放課後子ども教室コーディネーターの連絡会議の場などで、放課後子ども教室との連携を依頼したところ、例年以上に受け入れをする子ども教室もあった。しかし、在籍児童数に対してスタッフの人数が不十分という課題も顕在化してきた。補助金の減少傾向が続く中、これ以上のスタッフの増加は難しいのが現状である。	防府市ホームページ http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/oshiki/39/tiikirennkeidayori.html